

タイトル: 毎日を全力に笑顔で

事務局使用欄: 401

学校名: 酒田市立第四中学校

氏名: 久保 紫音

私は9月6日、7日に酒田市立第四保育園に取組場体験に行きました。保育園に決めた理由は、子どもが好きなこともありましたが、2020年にいとこが生まれ、子どもの世話を可及的変えを知ったからです。

9月6日の初日は、かもしかクラブという交通安全教室の日でした。私は年長クラスの担当で年長のみんなは自転車としてかこみ歩くことにしました。その夜、三十分ほど遊ぶ時間があり、ホールで走り回ったりかくれんぼしたり、元氣いっぱいの子どもたちとたくさん遊びました。お風呂はほんの時間には年長の多士と一緒にご飯を食べました。好き嫌いなく食べている姿を見て、偉いなと思いました。お風呂はほんの後は本を読んだり、読み本をしたり、ゆったり遊ぶ時間でした。お風呂の時には、布団を敷くのをお手伝いし、寝かしつけという仕事をしました。寝れない子、泣いてしまう子に寄り添い話を聞いた。一緒に横になってあげたりしました。寝かしつけが終わった後は頼まれた仕事とい振り返りの時間でした。私は楽しかったという気持ちもありました。一日園の中を重なり回る先生方の凄さを感じることになりました。また、子どもが危ないことと知るとき、その日のうちにここ危なかったねと、話し合うことが出来る。子どもの命を預かるという責任を感じました。

二日目は、クッキングで芋煮を作りました。年長クラスは芋煮の材料のねぎや人参を切りました。年長のみんなは包丁の使い方が上手で、「できちゃい！」「上手だね」と声をかけると「家でやったことあるの」、「もうお姉さんだね」と、たくさん話しながらクッキングをしました。その夜は一時間半ほど遊ぶ時間があり、ホールやクラスで鬼ごっこやかくれんぼ、折り紙やブロックなどたくさんの子どもも遊べました。途中で喧嘩になってしまった子やおんがしてほい子、泣いてしまう子、いらいらの子がいました。私は、できるだけ一人一人に寄り添いたいと思いましたが、お風呂はみんなでごく、芋煮でした。ホールで全クラス合せて食べる形式で、小さな子どもでも友達のことを考え、席を譲り合う様子を見て、子どもの凄さを感じました。その夜は読み聞かせをしました。本を見せながら感情を込めて読むのはこんなに難しいものだなと思いました。寝かしつけが終わり、みんなが起きると真には帰らなくてはならないなと思うと寂しく感じました。振り返りの時間、一日を振り返

| | |
|-----------------|-----------|
| タイトル: 毎日を全かに笑顔で | 事務局使用欄: |
| 学校名: 酒田市立第四中学校 | 氏名: 又保 紫音 |

11返るととても充実していた、なんと"か"ルビエも疲れを感じました。
2日間の職場体験が終わり、たくさん学びを感じたことがあります。
保育園は子どものお世話をし、遊ぶだけ、そう思っていました。か、あ、
く体力のいる仕事で泣いている子、喧嘩をしてしまう子、早く遊ぶ子は
など! いろんな子がいて朝から大忙しなんだなと思いました。一人は"け
にかたよらないようにやる難しさ、泣きやませるコツ、寝かしつけ方。保
育士は体力が必要で、楽しかったけど大変なことたくさんある
な"と感じました。しかし、子どもと一緒に新しい発見、最後まで
やり遂げたときの達成感は大変先生から話を聞きました。その話を聞
いたとき、子どもも先生も全かである保育園は素敵だなと感じました。

園児たちが起きる時間にはちやうど帰る時間だ、た、あ、園児に会
えり、帰る、と、な、か、な、と思っただけ、みんなが早く起きてお見送
りしてくれました。中には泣いてしまう子もいました。その時、私はやり
がいというものを感じた気がしました。今回の職場体験で、保育士は
本当に大変なことがわかりました。しかし大変なことがたくさん楽しいこと
もたくさんあります。園児の成長を感じたとき、楽しんでいるとき、笑顔
を見るときは保育士はやりがいを感じるんじゃないかなと思いました。

今回の職場体験を通して、私は将来、人の役に立つやりがいの
感じる仕事につきたいと思いました。今回学んだ、仕事の大変さ、た、あ、
さ、やりがい、責任感などを活かして、保育士と園児のついに
毎日を全か笑顔で過ごしていきたいです。